

日がん発第 25001 号

2025 年 4 月 1 日

がん関連学術研究団体
代表者 殿

公益財団法人 日本対がん協会
会長 垣添忠生



2025 年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

謹啓

春陽の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より小協会の活動に対し、深いご理解と厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度もがん征圧活動にご尽力されてきた方々に「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」をお贈りし、ご功績を称えさせていただきたいと考えております。つきましては、ご多忙中、誠に恐れ入りますが、候補をご推薦いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1968(昭和 43)年創設の日本対がん協会賞は、長年にわたり対がん活動に力を尽くされた個人・団体が対象です。この特別賞である朝日がん大賞は、2001(平成 13)年に朝日新聞社の協力を得て創設されました。がん予防を中心とした研究や開発、がん患者支援などで優れた実績を挙げ、いまま第一線で活躍されている個人・団体が対象となります。

ご推薦いただいた方々は、有識者で構成する選考委員会が審査し、日本対がん協会賞には個人の部、団体の部から各数件、朝日がん大賞は個人または団体から 1 件を選出いたします。受賞者は「がん征圧月間」を迎える 9 月 1 日(月)付で発表し、同 19 日(金)に神戸市中央区で開催する「がん征圧全国大会 兵庫大会」で表彰式を行います。日本対がん協会賞の受賞者は正賞(盾)と副賞(記念品)、朝日がん大賞の受賞者は正賞(盾)と副賞(100 万円)が贈呈されます。

日夜ご尽力されている方々を顕彰するため、多くの方のご推薦をいただきたいと存じます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

謹白

※推薦状と論文資料は、下記宛へご郵送いただきますようお願いいたします。

送付先：〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル 7 階
日本対がん協会「日本対がん協会賞」係 宛
締め切り：6 月 26 日(木)必着

※詳細は弊社サイト (<https://www.jcancer.jp/recruit/16262>) をご参照下さい。

こちらから推薦用紙もダウンロードできます。

■お問い合わせ先■

日本対がん協会 広報担当 今井

電話：03-3541-4771(代表)

メール：jcskouhou@jcancer.jp

2025(令和7)年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」募集要項

2025年度日本対がん協会賞および朝日がん大賞の候補者を募集します。
多くの候補者の推薦をお待ちしています。

【日本対がん協会賞】

■趣旨■

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてる。

■推薦基準■

- ① 「多年」とは、おおむね10年以上をいう。
- ② 適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③ 精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④ 奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤ がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。

【朝日がん大賞】

■趣旨■

日本対がん協会賞の特別賞として2001(平成13)年に創設。対象分野は、日本対がん協会の活動の柱である「がん予防」全般であり、がん征圧に向けて優れた実績をあげて社会に貢献し、かつ、第一線で活躍している個人・団体を顕彰する。また、将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も対象とする。

■推薦基準■

- ① がんの予防や検診のあり方等の研究で、将来期待できる成果を挙げた個人や団体。
- ② 画期的な検診機器の開発に関して功績を挙げた個人や団体。
- ③ 患者・治癒者を支える研究や活動などで顕著な貢献をした個人や団体。

【応募期間】

いずれも、2025年4月1日（火）～2025年6月26日（木）＝必着厳守

【応募方法】

日本対がん協会サイト「募集要項」(<https://www.jcancer.jp/recruit/16262>) から所定の推薦用紙をダウンロードして必要事項を記入のうえ、下記へ郵送する。資料は同封し、論文の場合は代表的なもの5本（主著論文）まで。いずれも推薦用紙・資料は返却しない。

〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル7階
公益財団法人 日本対がん協会
「日本対がん協会賞」係

【選考方法】

- ① 両賞とも有識者で構成する「日本対がん協会賞選考委員会」で行ない、日本対がん協会の理事会を経て決定する。
- ② 日本対がん協会賞は個人と団体の各数件、朝日がん大賞は個人または団体の1件とする。

【発表と表彰】

推薦者（応募者）に採否を通知するほか、がん征圧月間が始まる9月1日付で、日本対がん協会の機関紙「対がん協会報」及び公式webサイトで発表する。

表彰式は2025年9月に神戸市中央区で開催する「がん征圧全国大会」で行う。日本対がん協会賞は正賞（レリーフ）と副賞（記念品）、朝日がん大賞は正賞（レリーフ）と副賞（100万円）が贈呈される。

■お問い合わせ先■

〒104-0045

東京都中央区築地 5-3-3 築地浜離宮ビル7階

公益財団法人 日本対がん協会

広報・がん教育グループ(担当:今井)

TEL 03-3541-4771 / FAX 03-3541-4783

Mail : jcskouhou@jcancer.jp

日本対がん協会賞・朝日がん大賞の受賞例（過去5年）

2024(令和6)年度

■朝日がん大賞 中釜 齊 氏 国立がん研究センター理事長

「全ゲノム情報に基づく新たな治療薬の開発やがん予防への貢献」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 雨宮 清 氏 雨宮クリニック 院長

・婦人科がんの研究・治療に長年重視し、がん検診・予防啓発にも尽力

池田 琢哉 氏 鹿児島県民総合保健センター 前理事長

・行政との連携強化、がん検診の体制整備などで県民の健康増進に貢献

長田 忠孝 氏 山梨県健康管理事業団 理事

・肺がんを中心に検診・治療に尽力、在宅での看取りなど地域医療に貢献

久米川 啓 氏 香川県総合健診協会 会長

・消化器がんの外科治療に尽くし、女性のがん検診受診率向上にも取り組む

◇団体の部 滋賀県がん患者団体連絡協議会（会長：菊井 津多子 氏）

・患者・行政・医療の橋渡し役となり、地域のがん対策推進の原動力になっている

2023(令和5)年度

■朝日がん大賞 秋山 正子 氏 認定NPO法人マギーズ東京 共同代表理事・センター長

「長年にわたる訪問看護や在宅ケア、マギーズ東京などを通じたがん患者・家族支援」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 伊東 武久 氏 徳山中央病院 緩和ケア内科 主任部長

・長年にわたり婦人科がんの予防と治療、緩和ケア医療に尽力

高橋 道子 氏 東大宮クリニック 院長

・子宮頸がんはじめ女性のがんの治療、知識の普及に貢献

広瀬 真紀 氏 福井県がん検診精度管理委員会 幹事

・福井県内のがん検診の一元的管理、精度管理の向上、均てん化に尽力

松本 常男 氏 山口県予防保健協会 副理事長

・肺がん検診の画像読影、後進の指導などを通じ、山口県民の健康増進に貢献

◇団体の部 東京都立駒込病院（院長：戸井 雅和 氏）

・コロナ禍の中で造血幹細胞移植を続けたほか、学校でのがん教育で知識普及に貢献

2022(令和4)年度

■朝日がん大賞 祖父江 友孝 氏 大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座 環境医学 教授

「疫学データに基づく日本のがん対策への貢献」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 渡會 伸治 氏 石川町内科クリニック 院長

・大学病院などで学んだ技術や経験を生かし、経済的に困窮する患者らを診察

中井 昌弘 氏 三重県健康管理事業センター 理事 兼 診療所長

・健診業務と結核・生活習慣病の予防の普及啓発に長年にわたって尽力

菱沼 正一 氏 栃木県立がんセンター 名誉理事長

・肝胆膵の外科手術に熟練し、栃木県内のがん治療の進展に貢献

◇団体の部 特定非営利活動法人 Hope Tree（ホープ ツリー）（代表理事：大沢 かおり 氏）

・親のがんや死についてどう伝えるかなど、がん患者の子どもを支える活動に取り組む

2021(令和3)年度

■朝日がん大賞 天野 慎介 氏 一般社団法人 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長

「長年にわたるがん患者支援活動と患者代表としての意見発信」

■日本対がん協会賞

◇個人の部 蔭山 典男 氏 京都岡本記念病院 乳腺外科 主任部長

・受診者の利便性と受診率の向上に努め、京都府での乳がん検診事業に貢献

猿木 信裕 氏 群馬県衛生環境研究所 所長

・地域がん登録、院内がん登録の相互連携を図り、がん登録事業の基盤づくりに貢献

渋谷 大助 氏 一般社団法人 日本消化器がん検診学会 理事長

・胃がん検診を通じ、ピロリ菌感染と胃がんの情報提供、リスク層別化に取り組む

戸堀 文雄 氏 公益財団法人 秋田県総合保健事業団 理事長

・がん登録や胃がん・大腸がんの疫学調査などを通じて、秋田県のがん対策に貢献

◇団体の部 ケムラン ～屋内完全禁煙の飲食店を応援する会～ (管理人：伊藤 ゆり 氏)

・がんリスクを高める受動喫煙に着目し、「屋内完全禁煙の美味しい飲食店」をサイトで公開

2020(令和2)年度

■朝日がん大賞 株式会社 松下産業 (社長：松下 和正 氏)

「中小企業におけるがん治療と仕事の両立の推進に貢献」

■日本対がん協会賞

個人の部 石川 清司 氏 国立病院機構沖縄病院 名誉院長

・肺がんの診断・治療に取り組み、肺がん検診の精度管理、受診率向上にも努めた

富田 弘志 氏 長崎県健康事業団医局長 兼 健診部長

・全国で一番多くの離島を抱える中、肺がん検診体制の維持に貢献

長谷 章 氏 長谷内科医院 (神奈川県藤沢市) 院長

・禁煙運動を推進し、全国初の公共的施設での受動喫煙防止条例などの実現に尽力

藤田 博正 氏 北海道対がん協会細胞診センター 前所長

・道内で子宮頸がんに関する講演を続け、特に若い世代に向けた啓発に取り組んだ。

団体の部 群馬県がん患者団体連絡協議会 (会長：大島 主好 氏)

・行政や医療機関への提言、がんの早期発見・治療を訴えるキャンペーンなどで活躍

ブラザーチームジャパン (ブラザーグループ有志)

・がん患者・家族支援のチャリティ「リレー・フォー・ライフ」に参加。検診啓発も行う

※1968(昭和43)年度の第1回からの受賞者・団体名を記載した2025年度版の名簿は、日本対がん協会サイト「朝日がん大賞・日本対がん協会賞」(下記 URL)からデータをダウンロードできます。

https://www.jcancer.jp/about_japan_cancer_society/対がん協会の活動/朝日がん大賞・日本対がん協会賞

～以上～